

山口と韓国をつないだ仙崎港の歴史と今

戦後、6百数十万人の日本人が海外から日本に帰られました。逆に日本にいた朝鮮人や中国人等130万人の外国人が祖国に帰られました。山口県長門市仙崎では約41万の引揚者を迎え入れ、約34万人の朝鮮人を祖国に送り出しました。人口7000人の小さな町が、町を挙げて、今日の日韓友好につながる支援活動を展開しました。

戦後70年の今年、「引揚」の体験者や仙崎の人々の声を聴き、また現代の日韓関係を担う県大生の学びから、山口と韓国の友好関係、大学と地域の学びの協働についてともに考えてみませんか。



日時 2015年12月13日(日)

10:00~12:00

場所 山口県立大学 Y-act

主催 公立大学法人山口県立大学

共催 やまぐち韓国研究会 (10周年記念)

入場無料



問い合わせ先：山口県立大学韓国社会論研究室 金恵媛 ☎ 083-928-3440

〒753-8502 山口市桜島3-2-1 Email: hwkim@fis.ypu.jp

プログラム

09 : 00 開場

09 : 30 受付開始

司会 貞末典子（やまぐち韓国研究会員）

10 : 00 開会のあいさつ

金恵媛（山口県立大学国際文化学部 教授）

10 : 10 パネルディスカッション

コーディネーター 安溪遊地（山口県立大学国際文化学部 教授）

パネリスト 坂本和磨（仙崎まちなかボランティア・ガイド）

富山淳子（引揚げ体験者）

中谷貞女（引揚げ語り部）

松本 茂（引揚げ体験者）

宮本裕之（長門市役所観光課）

蕨 昭子（引揚げ体験者）



11 : 40 「山口と韓国：地域学習活動 10 周年を迎えて」

宮崎捷治（やまぐち韓国研究会代表）

11 : 45 ポスター発表 「県大生が捉える山口と韓国の今」

11 : 55 閉会のあいさつ 井竿富雄（山口県立大学国際文化学部 教授）

終了

*フォーラム世話人：久村紀恵（やまぐち韓国研究会員）

会場案内図 ◆山口県立大学（山口市桜畠3丁目2-1）

